



2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年3月10日

上場会社名 株式会社浜木綿 上場取引所 東・名
 コード番号 7682 URL <https://www.hamayuu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 永芳
 問合せ先責任者（役職名） 取締役業務部長（氏名） 三浦 祐明 (TEL) 052-832-0005
 半期報告書提出予定日 2026年3月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前期中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	3,261	4.4	152	30.0	153	27.5	70	1.3
2025年7月期中間期	3,123	5.9	117	△23.9	120	△23.3	69	△34.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年7月期中間期	32.71		—					
2025年7月期中間期	32.37		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	4,767	1,669	35.0
2025年7月期	4,723	1,606	34.0

(参考) 自己資本 2026年7月期中間期 1,669百万円 2025年7月期 1,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年7月期	—	0.00			
2026年7月期(予想)			—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,383	4.8	300	58.9	303	57.9	183	126.2	84.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年7月期中間期	2,170,210株	2025年7月期	2,164,170株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年7月期中間期	1,019株	2025年7月期	1,019株
-------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年7月期中間期	2,164,923株	2025年7月期中間期	2,158,895株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料及び決算説明動画については、当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2025年8月1日から2026年1月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大等により、景気は緩やかな回復の動きが続いております。一方、米国の通商・外交政策の影響に加え、地政学リスクの高まりや日中関係の悪化、さらには為替・金利の変動など、依然として先行きは不透明なまま推移しております。

外食業界におきましては、インバウンド需要の増加が下支えとなり、外食需要は概ね堅調に推移いたしましたが、食材価格の高騰や慢性的な労働力不足の影響を受け、運営コストは軒並み上昇しております。加えて、物価高騰の長期化や実質賃金の減少等により消費者の節約志向は高まっており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、初期投資コストを抑えた新たな出店形態として、2025年10月から居抜き物件を活用した「名東菜館」(名古屋市長東区)の出店、同月に一般社団法人愛知カンツリー倶楽部からのレストラン業務の運営受託を開始いたしました。

また、変化するライフスタイルに合わせた店舗づくりとして、2025年10月に「浜木綿 岐阜県庁前店」(岐阜県岐阜市)、同年11月に「浜木綿 国分寺北町店」(東京都国分寺市)をそれぞれ改装してリニューアルオープンし、新たな集い需要を掘り起こすとともに、集客力の向上を図っております。

一方、退店及び業態変更は実施しておらず、当中間会計期間末現在の店舗数は、「浜木綿」31店舗、「四季亭」3店舗、「桃李蹊」3店舗、「中国食堂はまゆう」4店舗、「名東菜館」1店舗、「愛知カンツリー倶楽部内レストラン(運営業務受託店舗)」1店舗の合計43店舗(すべて直営店)となっております。

また、従業員の働きやすい環境づくりの一環として、8月18日、12月31日、1月6日、7日の4日間を全店一斉休業日といたしました。今後もやりがいをもって働ける組織の構築を推進してまいります。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は3,261百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は152百万円(前年同期比30.0%増)、経常利益は153百万円(前年同期比27.5%増)となりましたが、中間純利益は、本社ビルおよび浜木綿山手通本店の建替えに伴う減損損失などの特別損失を計上したことにより70百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①財政状態の変動状況

当中間会計期間末における総資産額は4,767百万円、負債は3,098百万円、純資産は1,669百万円であり、自己資本比率は35.0%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ90百万円減少し、1,713百万円となりました。これは主に現金及び預金が125百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ135百万円増加し、3,054百万円となりました。これは主に建物が72百万円、工具、器具及び備品が31百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ97百万円増加し、1,157百万円となりました。これは主に買掛金が36百万円、未払法人税等が24百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ115百万円減少し、1,941百万円となりました。これは主に長期借入金117百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ62百万円増加し、1,669百万円となりました。これは主に利益剰余金が38百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前事業年度末に比べ121百万円減少し、1,058百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は286百万円(前年同期は243百万円の増加)となりました。これは主に税引前中間純利益107百万円、減価償却費109百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は227百万円(前年同期は147百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出219百万円により減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は180百万円(前年同期は19百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出123百万円、配当金の支払額32百万円により減少したものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、2025年9月10日に公表いたしました業績予想から、現時点において変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当中間会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,341,765	1,216,031
預け金	8,319	12,438
売掛金	5,470	40,073
商品及び製品	88,079	83,790
仕掛品	91	785
原材料及び貯蔵品	57,808	65,754
前払費用	105,973	84,169
未収入金	188,202	201,651
その他	8,436	8,482
流動資産合計	1,804,147	1,713,177
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,123,294	1,195,770
構築物(純額)	124,577	120,724
機械及び装置(純額)	32,692	29,764
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	82,065	113,433
土地	767,866	767,866
リース資産(純額)	100,067	115,283
建設仮勘定	21,186	—
有形固定資産合計	2,251,750	2,342,842
無形固定資産		
ソフトウェア	10,300	9,721
リース資産	28,766	25,034
その他	3,407	3,254
無形固定資産合計	42,475	38,011
投資その他の資産		
投資有価証券	9,815	10,394
長期貸付金	22,694	21,383
長期前払費用	87,710	102,901
差入保証金	256,704	256,779
繰延税金資産	209,690	232,501
その他	38,432	49,773
投資その他の資産合計	625,049	673,734
固定資産合計	2,919,274	3,054,588
資産合計	4,723,422	4,767,766

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当中間会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,379	214,705
1年内返済予定の長期借入金	246,752	240,463
リース債務	43,652	48,707
未払金	321,016	345,699
未払費用	65,350	74,353
未払法人税等	54,243	79,013
未払消費税等	75,551	62,062
預り金	15,439	17,787
前受収益	4,959	4,959
契約負債	5,281	5,462
賞与引当金	33,343	54,318
株主優待引当金	15,559	9,518
その他	9	89
流動負債合計	1,059,538	1,157,141
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,319,033	1,201,986
リース債務	136,513	139,090
長期末払金	107,230	104,150
資産除去債務	177,303	179,295
その他	17,078	17,078
固定負債合計	2,057,157	1,941,600
負債合計	3,116,696	3,098,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,296	693,059
資本剰余金	603,646	615,409
利益剰余金	323,552	361,928
自己株式	△2,412	△2,412
株主資本合計	1,606,083	1,667,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	642	1,039
評価・換算差額等合計	642	1,039
純資産合計	1,606,726	1,669,024
負債純資産合計	4,723,422	4,767,766

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	3,123,264	3,261,888
売上原価	825,363	834,711
売上総利益	2,297,900	2,427,176
販売費及び一般管理費	2,180,643	2,274,727
営業利益	117,257	152,449
営業外収益		
受取利息	213	1,339
受取配当金	177	55
不動産賃貸料	23,855	23,855
その他	2,811	2,260
営業外収益合計	27,057	27,510
営業外費用		
支払利息	6,057	7,848
不動産賃貸費用	17,339	17,247
その他	530	1,351
営業外費用合計	23,927	26,447
経常利益	120,387	153,512
特別損失		
固定資産除却損	2,330	12,996
減損損失	—	33,469
特別損失合計	2,330	46,465
税引前中間純利益	118,056	107,046
法人税、住民税及び事業税	49,989	59,216
法人税等調整額	△1,815	△22,992
法人税等合計	48,174	36,223
中間純利益	69,882	70,822

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	118,056	107,046
減価償却費	94,367	109,130
減損損失	—	33,469
受取利息及び受取配当金	△391	△1,394
支払利息	6,057	7,848
固定資産除却損	2,330	12,996
売上債権の増減額(△は増加)	10,847	△34,603
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,360	△4,350
仕入債務の増減額(△は減少)	33,708	36,326
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,910	20,975
その他	8,049	40,820
小計	268,575	328,265
利息及び配当金の受取額	232	659
利息の支払額	△6,177	△7,892
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△19,040	△34,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,590	286,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△137,551	△219,669
無形固定資産の取得による支出	△8,696	△1,800
敷金及び保証金の差入による支出	△50	△165
その他	△1,482	△6,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,780	△227,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△133,424	△123,336
自己株式の取得による支出	△311	—
リース債務の返済による支出	△24,692	△24,384
配当金の支払額	△21,577	△32,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,994	△180,128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,804	△121,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,068,020	1,180,084
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,183,824	1,058,470

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。